

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 予防接種研究部では、下記の共同研究機関から残余検体・診療情報等の提供を受けて、下記研究課題の実施に利用しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本所での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合には、下記の各医療機関へ直接ご連絡いただくか、もしくは下記の問い合わせ担当者または研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]

急性弛緩性麻痺等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立および疾患の普及啓発に資する臨床疫学研究

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
予防接種研究部第一室 室長 高梨 さやか

本研究に関する問い合わせ先：

国立感染症研究所 予防接種研究部 高梨 さやか

電話：03-5285-1111（応対可能時間：平日9時～17時）

[提供を受けている残余検体・診療情報等の由来者（研究対象者）]

以下に示す各医療機関において、急性脳炎・脳症および急性弛緩性麻痺（AFP）と診断された方の中で、原因病原体が不明であり、研究の実施許可日～2029年3月までの期間において、本研究参加の同意が得られた方

1. 福岡市立こども病院小児神経科（機関の責任者：科長 吉良 龍太郎）
2. 愛知医科大学病院小児科（機関の責任者：教授 奥村 彰久）
3. 九州大学病院小児科（機関の責任者：助教 チョン ピンフィー）
4. その他、急性脳炎・脳症および急性弛緩性麻痺（AFP）の症例について感染症発生動向調査へ届出可能な全国の医療機関

[提供を受け、本機構で利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：診断のために採取した血液(EDTA 加血、急性期と回復期のペア血清)、髄液、鼻咽頭ぬぐい液（呼吸器由来検体全般を含める）、尿、便の残検体（急性弛緩性麻痺の場合は、尿検体は省略可能であるが、便は 24 時間以上あけて 2 回採取）

診療情報等：および診断のために取得した臨床情報を匿名化した上で記入した調査票、画像データ

[利用・提供の目的] （遺伝子解析研究：無し）

病原体不明として届出された急性脳炎・脳症、急性弛緩性麻痺（AFP）に関して、日本脳炎、ダニ媒介脳炎、網羅的病原体遺伝子検索を実施し、原因究明に繋げることを目的とした共同研究である

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究の実施許可日～2029 年 3 月 31 日（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[国立健康危機管理研究機構における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 予防接種研究部第一室 室長 高梨 さやか

研究内容の問い合わせ担当者：国立健康危機管理研究機構 予防接種研究部第一室 室長 高梨 さやか

電話：03-5285-1111（応対可能時間：平日 9 時～17 時）

作成日：2025 年 7 月 28 日

第 1.0 版